



認知症

キャンペーン

いま、「認知症」は誰にとっても他人事ではない時代になっています。

厚生労働省の推計では、2012年時点で65歳以上の認知症の人は462万人。2025年には、700万人前後になると見られています。

そこで放送90年を機に、「認知症キャンペーン」を展開し、認知症の人自身、あるいは介護する人たちの手助けとなり、社会の一人一人に認知症に対する正しい理解を促す情報を、放送やインターネットなどを通じてお伝えします。高齢化が進む日本の未来を考え、ともに支え、安心して暮らせる社会を築く一助となり、公共放送ならではの役割を果たすキャンペーンとしたいと考えています。

キャンペーンのテーマ

「認知症を自分のこととして考える」

「福祉」「健康」「社会」の大きく三つの視点を軸に、社会の一人一人が認知症に向き合い、考えるきっかけとなる情報を提供していきます。

特集番組「認知症 わたしたちにできること」(仮)

2月24日(火) 午後10:00~10:49 <総合テレビ>

NHKが蓄積してきたノウハウや取材力を結集、認知症への理解を深める知識や認知症の予防につながる体操などを学べる特集番組。生放送。番組の舞台になるのは、NHK オリジナルの「認知症カフェ」。認知症に詳しいマスターが、日ごろ何を心がければよいのか？認知症と診断された後も充実した生活を送るには？そして社会全体で、認知症について考え、取り組むためには？などについて、ヒントを探っていきます。また、専門の医師をゲストに、「認知症って何？」「どんな症状が現れるの？」「軽度認知障害(MCI)って何？」など、認知症への理解を深める知識をわかりやすく紹介するコーナーも。



【キャスター】山本哲也アナウンサー

ハートネットTV「シリーズ認知症“わたし”から始まる」

2月3日（火）～5日（木）午後8：00～8：30 <Eテレ>

認知症の当事者による日本初の団体「日本認知症ワーキンググループ」が発足するなど、認知症になっても自分らしく生き続けられる社会の実現に向けての動きが出ている。認知症フレンドリーな社会の実現に向けた取り組みを紹介する三本シリーズ。

第一回 「わたしたちが声をあげた理由 ～早期診断・早期絶望を克服するために～」

第二回 「自分らしく生きるために ～“認知症フレンドリーな社会”の実現に向けて～」

第三回 「あなたに知ってもらいたい ～認知症カフェ・当事者との対話から～」

今後の展開

▼特集・定時・ミニ番組

2月には、2月24日にキャンペーン特集番組を予定しているほか、2月3日～5日には「ハートネットTV」で三夜にわたって認知症を特集、さらにミニ番組のシリーズもスタートします。

今後も、NHKスペシャルなどの特集番組、「あさイチ」「きょうの健康」「チョイス@病気になったとき」「ハートネットTV」などの定時番組でも、様々な角度から認知症を取り上げます。

▼ミニ番組とクリップによる幅広い情報提供

「認知症早期発見のチェック法」、「徘徊する人を見かけたときには」「認知症予防に役立つ体操（詳細別項）」など、様々な視点から、認知症と向き合うために有効な一口情報を、放送やホームページ（<http://www.nhk.or.jp/ninchishou/>）を通じて届けます。

▼NHK流「認知症カフェ」がキャンペーンの舞台

認知症カフェは、認知症の本人や家族、専門家などが集まり、コミュニケーションの場となっている施設。このコンセプトを応用した世界観をセットやデザインで表現し、キャンペーンのイメージ作りを図ります。

▼認知症予防体操（コグニサイズ）

「コグニション（認識）」＋「エクササイズ（運動）」

科学的データに基づき、認知症の予防に効果があると期待されているエクササイズ。このエクササイズは、脳を働かせる課題と身体を動かす課題を同時におこなうことが特徴です。例えば、ステップを踏みながら、数字を数え、3の倍数の時には声を出さず手をたたく、などです。

ミニ番組やクリップとして、コグニサイズの幾つかのパターンをご紹介します。